

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870102690
法人名	有限会社 優寿の里
事業所名	グループホーム 優寿の里
所在地	愛媛県松山市堀江町甲207番地1
自己評価作成日	平成 22年 1月 4日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 ※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 22年 1月 29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者の方が、今まで暮らしてこられた個々の経験や生き方を大切にしながら豊かな生活を送れるよう支援し、利用者と共に喜びや悲しみを分かち合い楽しく安心のできる生活を送っていただけるよう、生活の質の向上と、共に生きるといった姿勢を大事にしております。  
また、利用者の方はもとよりご家族や地域社会に信頼され、開かれた施設を目指し日々努力しております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

代表者は、ホームをもっと良くしていきたいと常に前向きに考えている。職員は理解し合い、助け合ってよりよいケアに取り組んでいる。利用者を第一に考え、会話を交わしながら優しく対応しており、利用者には安心感をもって穏やかに過ごしている。利用者からの感謝の言葉が、職員のやり甲斐につながっている。食事は地産地消で季節感を盛り込み、利用者の嗜好にも配慮している。介護計画に添った個別記録は、振り返りや評価がしやすい様式となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

● 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

● 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

※用語について

● 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含まれます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)

● 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

● 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含まれます。

● チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含まれます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 優寿の里

(ユニット名) 1F

記入者(管理者)

氏名 藤本 崇

評価完了日 22年 1月 7日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 理念や基本方針を各所に掲示し、職員全員で共有、実践することにより、地域の中で「その人らしく」暮らし続けられるよう努めています。 また、基本方針の中にも、家族や社会から信頼される開かれたホームを目指しています。</p> <p>(外部評価) 認知症介護に必要な視点を表現した「生活の質の向上への努力・共に生きる姿勢・信頼関係の確立」という理念を掲げ、職員間で共有して日々の実践に繋げている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	<p>(自己評価) 新型インフルエンザの影響から、人ごみへの外出は極力避けていましたが、利用者の体調や気候等を考慮しながら、近隣を散歩したり、地域の行事や店舗に外出することにより、利用者が地域から孤立することのないよう努めています。</p> <p>(外部評価) 代表者をはじめ全職員は、地域に開かれたホームを目標に、気軽に訪れてもらえるような雰囲気づくりに努めている。読み聞かせボランティアが来所することを、利用者は楽しみにしている。時には近隣より季節の野菜等を届けてもらうこともある。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 気軽に立ち寄り相談して頂けるよう、民生委員さんやご近所の方に声をかけています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進会議においては、ご家族や地域の方々への活 動内容の報告も重要ですが、それぞれの意見の交換に 重きを置き、活発な意見のやり取りをすることによ り、今後の質の向上に努めています。 (会議時間の半分以上は、意見交換の時間となってい ます。)	
			(外部評価) 運営推進会議には家族・町内会長・民生委員・市担当 者等の出席を得、ホームから状況や外部評価の報告等 を行い、衛生管理等について協議するなど、活発な意 見交換がなされている。会議録は詳細に記録してお り、ふりかえって確認することができる。今後はさら に避難訓練と合わせて開催することを計画している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くように 取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議の際には、必ず連絡をし、日々の活動内 容を報告するばかりではなく、様々な意見交換をご家 族や地域の方々とすることにより、市町村担当者との 協働関係を築いています。 また、その他にも、地域の交流会を通じて、市町村担 当者との交流をはかり、サービスの質の向上に努めて います。	
			(外部評価) 市担当者や地域包括支援センター職員から新しい情報 や課題解決のためのアドバイスをもらえるなど、協力関係 を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 勉強会等を通じて、身体拘束の内容や弊害を職員全員 が正しく理解し、「生命への著しい危険がある場合、 代替性がない場合、緊急性がある場合」を除き、身体 拘束を行わないケアを目指しています。	
			(外部評価) 安全を確保しながら、自由な暮らしを支援している。 身体拘束にあたる行為について学習し、全職員が確認 している。玄関は、防犯上19時から翌朝8時30分 頃までは施錠している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員会や勉強会で話し合いを行い、虐待の危険を早期に発見し、防止する努力をしています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 各制度に関する研修会に参加したり、パンフレットを入口に置き、必要に応じて活用できるよう支援しています。 また、必要と考えられる利用者の方については、個別に相談し、関係各所への橋渡しを行っています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時や内容の変更等がある場合には、十分な説明を行い理解、納得を図り、同意の署名捺印を頂いています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 運営推進会議、家族会を含め、日頃から気軽に意見、不満、苦情を言える関係づくりを心がけ反映させています。また、意見、不満、苦情の中から改善点を利用者を含め職員間で話し合っています。  (外部評価) 利用料を振込とせず直接ホームに持ってきてもらい、家族の意見を聞いたり情報交換をする機会としている。利用者や家族とはじっくりと会話する時間を確保するよう心がけ、要望を把握してケアに活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 職員会議、ケース会議、相談ノートなどで意見を交換し運営へ反映させています。また、その都度話し合い意見を聞けるよう、開かれた状態になっています。</p> <p>(外部評価) 代表者及び管理者は話を聞く姿勢があり、職員は何でも相談し、解決方法を一緒に考えるなど、安心して日々のケアにあたっている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 個々の状況を把握し、各自が向上心をもって働けるように努めています。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 研修会、勉強会、定期購読の雑誌（おはよう21）などで勉強しています。また、日々のケアを職員間で密に話し合うことにより質の向上を目指しています。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 夏祭りなどの行事への参加や意見交換会への参加を通じて、地域のグループホームや医療福祉関係者とのネットワークを構築しています。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 利用者やご家族からよくお話を伺い、現状とこれからの求めに沿っていけるよう努めています。また、新たな利用者に対しては積極的な声かけをし、職員全員が情報を共有することにより、信頼関係の確立と安心の出来る生活の場の提供を、重点的に行っています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) ケアマネージャーと共にご家族への聞き取りを行い、ご家族の求めていることを受け止めるよう努めています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) サービス利用開始段階に、利用者やご家族からよくお話を伺うことにより、必要とした支援を検討しています。また、その場合に他のサービス利用が検討される場合には、提案、橋渡しを支援しております。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 利用者一人ひとりの人格を尊重し、理念にもある共に生きる姿勢を大事にしています。 ゆったりとした時間の中で、家事や歌、昔の話を通し、本人の経験を学ぶ場を作っています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 気軽に訪問できる場を作り、ご家族と共に本人を支え、今まで以上のより良い関係を築けるようにしています。 また、ご家族の方へ行事の参加を呼びかけ、共に楽しめる環境を提供しています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 利用者の記憶の中にある、なじみの場所への外出支援を行っています。 また、ご親戚や知人などの訪問も多くあり、電話や手紙等でのやりとりもあります。  (外部評価) 家族の訪問は多く、生活の場が自宅からホームに変わっても利用者の関係継続を自然と支援している。希望があれば墓参り等での外出にも対応している。家族への年賀状や友人への手紙等、馴染みの方と連絡を取り合うことができるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 一人ひとりの時間を大切にしながら、レクレーションや行事等を通じて利用者同士の関わり合いを支援しています。 その中から、利用者一人ひとりの気持ちを把握し、共に喜怒哀楽を感じられる場面を支援しています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) サービス利用が終了しても、関係性の継続が必要と考えられる場合には、電話や訪問等により、関係を断ち切らないように努めています。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 日常の会話の中や、ちょっとした訴えの中から利用者の要望を捉え、職員間で情報の共有を行い利用者本位のケアに努めています。 要望の訴えの困難な場合には、利用者やご家族の立場に立ったケアを心がけています。 (外部評価) 職員は、利用者との日常の会話から思いを汲み取るように心がけており、入浴や散歩時等、一対一での支援になる時間には特に積極的に話を聞くようにしている。個人記録には一人ひとりの言葉を書き込み、希望や意向の把握に役立てている。利用者の生活歴や嗜好も貴重な情報と捉えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人からの聞き取りやご家族からの情報提供により、今までの暮らしを把握することに努めています。 また、日常の生活や、昔の経験・記憶を話して頂くことにより、これまでの暮らしを把握できる努力を行っています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 利用者個々人の「できる力」を暮らしの中から発見し、日々のケアに生かしています。 また、ミーティングや職員会、日常の記録等により、利用者一人ひとりの現状を職員全員が把握しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	(自己評価) ケアマネージャーを中心とし、本人・ご家族の意見を取り入れた介護計画を作成しようと努めています。また、ケアプラン評価やモニタリングにより、意見やアイデアを取り入れ、利用者の現状に即したケアを行えるよう努めています。	
			(外部評価) 利用者の介護目標をより詳細に把握するため、利用者ごとに担当職員を決めている。家族へは日々の状態を報告し、困ったことや希望等について意見を出してもらい、介護計画の作成に活かしている。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 気づきや工夫の情報をミーティングや評価、職員会議等を通じて共有することにより、その時に合った介護計画を立てられるようにしています。	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々にも生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	(自己評価) 利用者やご家族の話をよく聞き、その時々に応じた柔軟な対応に努めています。	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	(自己評価) 施設近隣にある地域資源を把握し、協力を得られるように努めています。 ボランティアの協力を得て、語り部さんのお話会、芋ほりなどの行事支援や日常支援を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価)</p> 医療機関、訪問歯科医院等と連携をとっています。 24時間体制で緊急時には指示を仰ぎ、適切に対応し てもらえる体制を構築しています。 また、利用者のご家族に相談、説明しながら、より良 い医療機関との連携に努めております。	
			<p>(外部評価)</p> 協力医療機関とは24時間体制で連携を図れるようにな っており、適切な医療を受けられるよう支援してい るため、利用者及び家族にとっては医療面で安心感が ある。	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価)</p> 連携を持っている医療機関の看護職の方に、日常の健 康管理・医療活用の支援をして頂いています。 また、看護師との情報交換を密にし、医療的知識や 日々のケアを通じて気づいた情報を、早い段階で医療 との連携につなげる努力を行っています。	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価)</p> 入院時には、利用者が安心して治療できるよう、医療 機関との情報の共有に努め、早期退院につなげられる よう医療機関や利用者・ご家族と退院計画の相談を 行っております。	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価)</p> ご家族、かかりつけ医、ケアマネージャー等と常に話 し合いを持ち重度化、終末期に向け全員で方針を共有 しています。	
			<p>(外部評価)</p> 看取りの経験は今までに6例ある。看取りに関する指 針・同意書を作成し、入居時に利用者や家族に説明し ている。看取りケアが必要になった場合には、方針に 添って話し合いを重ねながら進めている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 応急手当や初期対応についての勉強会を行っています。 救急時の対応を電話近くに掲示し、準備物をリストアップしています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年二回の避難訓練を行っています。防災士の職員の指導により防災訓練を行いました。職員全員で避難場所を確認し、懐中電灯や非常水等の備蓄品の準備を行っています。また、日頃から近隣との関係を密に取り、非常時には協力し会えるよう交流を図っています。  (外部評価) 年2回、地域と協力しながら避難訓練を行っている。運営推進会議で災害対策等について取り上げるなどしながら、地域との協力体制が築けるよう働きかけている。スプリンクラーは本年2月に設置完了予定である。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 個人のプライバシーには十分に注意し、言葉かけや対応記録の取り扱いに十分な配慮を行っています。また、個人情報に関しても、使用する場合には同意書と共に個人と特定できないようにしています。  (外部評価) 利用者の誇りを傷つけないよう注意しており、居室への入室や排泄ケアの際には特に意識して気をつけている。利用者の尊厳を大切にされた言葉遣いや声かけ、家族の意向に沿った呼び方など、細やかな配慮が見られる。個人情報や記録類は適切に取り扱っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 日々の生活の中から本人の要望、希望を見つけ出し、出来ないことをあきらめるのではなく、支援により出来ることへの発見に重きを置いています。本人の意思の尊重、希望に沿うような働きかけ、力に合った説明を支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) その人らしい生活を送れるよう、職員の都合を優先しないよう努めています。 一人ひとりのペースに合わせ、ゆっくりと柔軟な対応が取れるよう支援しています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 整容に関するチェックリストを使用し、身だしなみには十分に配慮しています。 理容、美容も本人の望む時期、場所等についても支援しています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 利用者個人個人の好き嫌いを把握し、普段のメニューの中にも取り入れています。 また、食事は個々に合わせた支援を心がけて、準備、片付けなど出来る範囲で共用しています。 ホットプレートを使った料理等をし、一緒に楽しめる場を作っています。 (外部評価) 代表者には、美味しい食事を利用者に提供したいという思いがあり、地産地消で季節感のある心こもったメニューとなっている。献立は職員と利用者が一緒に考え、調理の得意な職員を中心に楽しみながら行っている。家庭菜園のパセリ等も食卓に登場している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 旬の野菜を中心とする食事を提供し、多くの種類を使用したメニューと栄養のバランスを考えた食事内容になるよう努めています。 また、水分量に関しても一日を通じて確保できるように努めています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 起床時や毎食後に利用者に合った声かけや支援を行うことにより、歯磨き、口腔ケアを実施しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 排泄の間隔を把握して、適宜トイレへの誘導をすることにより、オムツの使用を減らし、又本人の排泄の感覚を取り戻せるよう支援しています。	
			(外部評価) 排泄パターンを把握して声かけやトイレ誘導に努め、また適度な運動をすることで歩いてトイレに行けるよう、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 食物繊維などを多く含む食品や、乳製品や果物等を摂取できるよう心がけています。 日常動作の中やリハビリ体操などの適度な運動を行っています。	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 毎日、お風呂を沸かし、希望があれば毎日でも入浴できるようになっております。その日の体調やバイタルを考慮して、できるだけ利用者の希望やタイミングに合わせられるように努力しています。	
			(外部評価) 毎日入浴できるよう準備している。入浴拒否のある利用者に対しても、気分の良さそうな時や時間帯を見計らって声をかけるなど、職員のチームプレーを活かして支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者は個々の生活習慣に応じた睡眠をとられています。 困難な利用者には、日中に適度な運動をしてもらったり、個々に合った対応をしたりすることにより、安眠につなげています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 医療機関との連携により薬の内容を理解し、薬の袋に氏名と日付を入れ、間違いの無い薬の服用を支援しています。 また、症状の変化が見られるときには、医師への相談がすみやかに行えるように連携をとっています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 洗濯干し、食前食後の手伝い、掃除、花瓶の水替え等役割分担し、喜んでいろいろな場面に参加できるよう努めています。 職歴や得意なことを把握し、その人に合った支援を行っています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 体調や気候を考慮しながら、散歩や地域の行事への参加、住み慣れた場所への外出など、本人の希望に沿った場所への外出の支援を行っています。 お花見や遠足等の行事を通じて、他の利用者と共に出かけられる機会を作っています。	
			(外部評価) ドライブ、外食、スーパーでの買い物、遠足、墓参り、散歩等、外出支援には熱心に取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 利用者のご家族との相談のもと、利用者によっては小額ずつ所持して頂いています。 金銭管理の難しい方については、おこづかいを預かり、スーパーなどに出掛けた際など必要な時にお渡しするようにしています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者本人がご家族や知人などに電話をしたり、手紙を書いたり出来るよう支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 日中、大半を過ごされるリビングには、特に季節感に配慮し、観葉植物や生け花、四季を表現した貼り絵を作成、展示して楽しんで頂いています。 また、居室やトイレ、浴室等の明暗や温度の変化があまり無いように努めています。</p> <p>(外部評価) 穏やかで優しい光が差し込む共用空間は、居心地よく過ごすことができる。テレビは利用者にも見やすい大きさのものが設置されている。季節の生花が至るところにさりげなく飾られ、心を和ませてくれる。</p>	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価) いくつかのリビングソファとテーブルがあるので、一人で新聞を読んだり、陽の当たる日中うとうとされたり、ふと思い出した話を利用者同士で話したりと思いいに過ごせるように工夫しています。</p>	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価) 居室には、出来る限り使い慣れた家具や持ち物、懐かしい写真などを置き、居心地の良い空間を作るよう努めています。 また、テレビや書籍、趣味の物等利用者本人が居心地よく居室で過ごせるようにしています。</p> <p>(外部評価) 家族の協力を得ながら、懐かしい思い出の写真や仏壇など利用者自身にとって大切な物品を持ち込んでいる。職員も、ホームに入居するまでの環境のギャップがなるべく少なくなるよう配慮している。</p>	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価) 車いすの方でも利用できる洗面所や、トイレ位置のわかる張り紙、手すりの設置など、いたるところに利用者の目線で創意工夫をした環境を整え自立支援を行っています。</p>	

(別表第1の3)

評価結果概要表

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	3870102690
法人名	有限会社 優寿の里
事業所名	グループホーム 優寿の里
所在地	愛媛県松山市堀江町甲207番地1
自己評価作成日	平成 22年 1月 7日

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先 [※「介護サービス情報の公表」制度にて、基本情報を公表している場合のみ、ここに記載](#)

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 愛媛県社会福祉協議会
所在地	松山市持田町三丁目8番15号
訪問調査日	平成 22年 1月 29日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

利用者、職員共に笑いのある楽しい生活の場所となっています。利用者一人ひとりを大切に、安心して生活が送っていただけるよう支援を行っています。又地域との連携をとりイベントにも参加しております。家族との信頼関係を重視する為に常に連絡を取り合っております。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

代表者は、ホームをもっと良くしていきたいと常に前向きに考えている。職員は理解し合い、助け合っによりよいケアに取り組んでいる。利用者を第一に考え、会話を交わしながら優しく対応しており、利用者は安心感をもって穏やかに過ごしている。利用者からの感謝の言葉が、職員のやり甲斐につながっている。食事は地産地消で季節感を盛り込み、利用者の嗜好にも配慮している。介護計画に添った個別記録は、振り返りや評価がしやすい様式となっている。

V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1~55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当する項目に○印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	66	職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごしている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらい 3. 利用者の1/3くらい 4. ほとんどいない		

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- I. 理念に基づく運営
- II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。
- 全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。
- チーム＝一人の人の関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!  
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!  
ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!

ーサービス向上への3ステップー

事業所名 グループホーム 優寿の里

(ユニット名) 2F

記入者(管理者)  
氏名 堀 恵子

評価完了日 22年 1月 7日

(別表第1)

自己評価及び外部評価表

【セル内の改行は、「Altキー」+「Enterキー」です】

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
<b>I.理念に基づく運営</b>				
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	<p>(自己評価) 理念、基本方針を全職員で共有、実践し、地域の中でその人らしい生活が続けられるよう努めています。</p> <p>(外部評価) 認知症介護に必要な視点を表現した「生活の質の向上への努力・共に生きる姿勢・信頼関係の確立」という理念を掲げ、職員間で共有して日々の実践に繋げている。</p>	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一人として日常的に交流している	<p>(自己評価) 近隣の散歩時に言葉を交わしたり、地域の店に買い物に出かけたり、又、地域の行事に参加するなどして交流を図り、利用者が孤立しないように努めています。</p> <p>(外部評価) 代表者をはじめ全職員は、地域に開かれたホームを目標に、気軽に訪れてもらえるような雰囲気づくりに努めている。読み聞かせボランティアが来所することを、利用者は楽しみにしている。時には近隣より季節の野菜等を届けてもらうこともある。</p>	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	<p>(自己評価) 気軽に立ち寄って頂けるよう、地域の方々に声をかけています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 運営推進委員会では、ご家族、地域の方々に日常の活動報告を行い、又、時々の問題点などを提起して意見交換をし、サービスの向上に繋げています。	
			(外部評価) 運営推進会議には家族・町内会長・民生委員・市担当者等の出席を得、ホームから状況や外部評価の報告等を行い、衛生管理等について協議するなど、活発な意見交換がなされている。会議録は詳細に記録しており、ふりかえって確認することができる。今後はさらに避難訓練と合わせて開催することを計画している。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議時には、必ず連絡をし、ホームでの近況、活動を報告しています。会議時には、様々な意見交換を行い市町村担当者と協力関係を築いています。	
			(外部評価) 市担当者や地域包括支援センター職員から新しい情報や課題解決のためのアドバイスを得るなど、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 職員会、勉強会等を通じて、職員全員が正しく理解し、身体拘束をしないケアに取り組んでいます。	
			(外部評価) 安全を確保しながら、自由な暮らしを支援している。身体拘束にあたる行為について学習し、全職員が確認している。玄関は、防犯上19時から翌朝8時30分頃までは施錠している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 職員会、勉強会などで学ぶ機会、話し合いを持ち、注意・防止に努めています。	
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価) 職員は、勉強会、職員会で学び、ご家族には、運営推進会議を通じて、周知を図っています。必要な方には、説明が出来るようパンフレットを入口に置いています。	
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 契約時には、重要事項説明書にて、十分な説明を行い、疑問点があれば、説明をし、理解・納得を図っています。	
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 日頃から、意見、不満、苦情を気軽に言える関係作りを心掛けています。改善点があれば、運営推進会議・職員会で話し合っています。 また、入口には意見箱を設置しています。	
			(外部評価) 利用料を振込とせず直接ホームに持ってきてもらい、家族の意見を聞いたり情報交換をする機会としている。利用者や家族とはじっくりと会話する時間を確保するよう心がけ、要望を把握してケアに活かしている。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	<p>(自己評価) 職員から、意見や提案を聞ける雰囲気を作れるように努めています。</p> <p>(外部評価) 代表者及び管理者は話を聞く姿勢があり、職員は何でも相談し、解決方法を一緒に考えるなど、安心して日々のケアにあたっている。</p>	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	<p>(自己評価) 職員個々の状況を把握し、各自が向上心を持って、働けるような職場環境作りをしています。</p>	
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<p>(自己評価) 職員一人ひとりの力量にあった研修参加の呼びかけを行い、参加後勉強会を開いています。</p>	
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	<p>(自己評価) 夏祭りなどの行事参加を通じて、同業者と交流を持ち、地域のグループホームや福祉関係者とのネットワーク作りをしています。</p>	
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>				
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	<p>(自己評価) 本人に話を伺ったり、家族から情報を提供して頂いたりして、本人が安心した生活が送られるよう 求めている事を受けとめようと努めています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	(自己評価) 相談時に、ご家族の困っている事、不安な事などに耳を傾けながら家族自身を受け止めるように努めています。	
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 相談時、その時点で何が必要かを見極め、出来る限りの対応に努めています。	
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	(自己評価) 職員は利用者一人ひとりの個性を大切にし、共に喜び悲しみを分かち合い、共に生きる姿勢を大事にしています。	
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) ご家族に施設の行事に参加して頂き、本人と共に楽しめる時間作りを行っています。 利用者の状態の変化を連絡したり、面会時に話し合うようにしています。	
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 知人、親戚の方の面会が多くあり、電話、手紙などで連絡をとり、付き合いを続けています。また、自宅近辺へのドライブに出かけています。  (外部評価) 家族の訪問は多く、生活の場が自宅からホームに変わっても利用者の関係継続を自然と支援している。希望があれば墓参り等での外出にも対応している。家族への年賀状や友人への手紙等、馴染みの方と連絡を取り合うことができるよう支援している。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 行事、レクリエーションなどを行う事で、利用者同士が関わり合えるような支援に努めています。	
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 関係性の継続が必要と考えられる場合には、電話・訪問等を行い、本人、ご家族の相談や支援に努めています。	
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>				
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 本人・ご家族から情報を伺い、思いや意向の把握に努めており、出来る範囲で希望をかなえています。  (外部評価) 職員は、利用者との日常の会話から思いを汲み取るように心がけており、入浴や散歩時等、一対一での支援になる時間には特に積極的に話を聞くようにしている。個人記録には一人ひとりの言葉を書き込み、希望や意向の把握に役立てている。利用者の生活歴や嗜好も貴重な情報と捉えている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 本人との会話の中で、これまでの暮らしぶり、又ご家族から情報を集めています。	
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 職員が声かけ 状態観察を行い記録をし、情報を共有して支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	<p>(自己評価) ケアプラン作成時に、本人、ご家族の希望を伺い、職員全員意見交換し、より良いプラン作成に努めている。</p> <p>(外部評価) 利用者の介護目標をより詳細に把握するため、利用者ごとに担当職員を決めている。家族へは日々の状態を報告し、困ったことや希望等について意見を出してもらい、介護計画の作成に活かしている。</p>	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	<p>(自己評価) 個別の記録を記入し、利用者の変化に気づいた介護計画の見直しに役立てている。</p>	
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	<p>(自己評価) その時々、本人・ご家族の状況に対応した支援や、サービスに取り組んでいる。</p>	
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	<p>(自己評価) 地域の資源を把握し、協力を得られるよう努めています。 音楽ボランティアの協力を得て、楽しい時間を過ごしています。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している	<p>(自己評価) 医療機関・訪問歯科医院と連携をとっています。 また、協力医療機関の北条フェニックスとは、月2回 の往診と24時間体制をとっており、特変時には、指 示を仰ぎ対応しています。</p> <p>(外部評価) 協力医療機関とは24時間体制で連携を図れるよう になっており、適切な医療を受けられるよう支援して いるため、利用者及び家族にとっては医療面で安心感 がある。</p>	
31		○看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している	<p>(自己評価) かかりつけ医の看護師へ、疑問点などを相談し、変化 時には電話で連絡を取っています。</p>	
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。	<p>(自己評価) 医療機関と連携をとり、病状の確認をしながら、早期 退院に向け支援しております。</p>	
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる	<p>(自己評価) ご家族、主治医等と事業所で出来る事の話し合いを持 ち、重度化、終末期に向け全員で方針を共有してい ます。</p> <p>(外部評価) 看取りの経験は今までに6例ある。看取りに関する指 針・同意書を作成し、入居時に利用者や家族に説明し ている。看取りケアが必要になった場合には、方針に 添って話し合いを重ねながら進めている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価) 職員は、勉強会で学ぶ機会をもち、定期的に訓練を行っています。	
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価) 年2回地域の防災士を中心に訓練を行いました。地域の方との交流を深め、協力を得られるよう働きかけています。備蓄品等も備えています。  (外部評価) 年2回、地域と協力しながら避難訓練を行っている。運営推進会議で災害対策等について取り上げるなどしながら、地域との協力体制が築けるよう働きかけている。スプリンクラーは本年2月に設置完了予定である。	
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>				
36	14	○一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価) 各利用者の生活歴や環境を考慮した上での言葉かけ、対応を行っています。何かを行う時には、必ず本人に声をかけるようにしています。  (外部評価) 利用者の誇りを傷つけないよう注意しており、居室への入室や排泄ケアの際には特に意識して気をつけている。利用者の尊厳を大切にされた言葉遣いや声かけ、家族の意向に沿った呼び方など、細やかな配慮が見られる。個人情報や記録類は適切に取り扱っている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価) 利用者との信頼関係をもち 本人の思いや希望を表現出来るように対応し、意思を尊重しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 職員の業務優先になる事なく、本人の思いを聞きながら希望するペースに合わせた暮らしを支援しています。	
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 外出時には、おしゃれをして出かけます。整髪については、望まれる方には、美容院にも出かけ、日頃より身だしなみには、十分に配慮しています。	
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 一人ひとりの好み、食べたい物を聞きながら、栄養面を考慮し、旬の野菜中心のメニューを立てています。食事作り、配膳、皿洗いまで利用者と一緒に取り組んでいます。 (外部評価) 代表者には、美味しい食事を利用者に提供したいという思いがあり、地産地消で季節感のある心こもったメニューとなっている。献立は職員と利用者が一緒に考え、調理の得意な職員を中心に楽しみながら行っている。家庭菜園のパセリ等も食卓に登場している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養のバランスを考慮したメニューを考えています。水分量にも気を配り、記録し、1日の摂取量を確保できるように努めています。	
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 毎食後、職員が声かけにて、一人ひとりに応じた支援を行っています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価) 健康チェック表により各自の排泄リズムを把握し、トイレ誘導を行い、失敗やパット・オムツ使用を減らせるよう支援しています。	
			(外部評価) 排泄パターンを把握して声かけやトイレ誘導に努め、また適度な運動をすることで歩いてトイレに行けるよう、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援に努めている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価) 自然排便を促す為、繊維質の多い食材の利用などで調理の工夫をしています。またご家族とも相談し乳製品の宅配サービスを利用しています。そして適度の運動を心掛けています。毎朝食には、必ずヨーグルトを取り入れています。	
			(外部評価)	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価) 利用者の体調や状態に応じて、希望を聞いたうえで、本人のタイミングに合わせ実施しています。	
			(外部評価) 毎日入浴できるよう準備している。入浴拒否のある利用者に対しても、気分の良さそうな時や時間帯を見計らって声をかけるなど、職員のチームプレーを活かして支援している。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価) 今までの生活習慣に合わせ各自の生活の中で、リズム作りや休息、睡眠をとれるように支援しています。	
			(外部評価)	

自己 評価	外部 評価	項 目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の受け取り時に、薬剤師より説明を受け、症状の変化がある時は、速やかに主治医と相談しています。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 各自の得意、不得意を理解し、それぞれに楽しんで過ごしていただけるよう支援しています。	
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 利用者の体調や状態に応じて、散歩・ドライブ・買い物等を実施しています。施設の行事として、お花見遠足にでかけています。	
			(外部評価) ドライブ、外食、スーパーでの買い物、遠足、墓参り、散歩等、外出支援には熱心に取り組んでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 金銭管理が難しい方には、ご家族と相談の上、おこずかいとして預かっており、買い物時には、本人にお渡ししています。	
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 本人の希望時には、手紙・電話等の連絡を取っており、暑中見舞いや年賀状等は、定期的に発送するように支援しています。	

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 玄関、リビング、洗面台等には、常に季節を感じられる様に、生花や飾り物を置いています。居室は、一人ひとりにあった温度に調節し 心地よく過ごしてもらっています。	
			(外部評価) 穏やかで優しい光が差し込む共用空間は、居心地よく過ごすことができる。テレビは利用者にも見やすい大きさのものが設置されている。季節の生花が至るところにさりげなく飾られ、心を和ませてくれる。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) リビングの席には、気の合う利用者同士が楽しく会話出来るように考えています。 ソファに座り、テレビを見たり、新聞を読んだりして過ごされています。	
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもをを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 居室には、昔からの馴染みの物品や家具を持って来てもらって、心落ち着ける空間になっております。	
			(外部評価) 家族の協力を得ながら、懐かしい思い出の写真や仏壇など利用者自身にとって大切な物品を持ち込んでいます。職員も、ホームに入居するまでの環境のギャップがなるべく少なくなるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 安全歩行の為に、廊下には手すりを設置し、歩行に危険となる物品は排除しています。居室の入口には、本人の目印となるのれんを掛けています。	